

平成 26 年 10 月 30 日

加須市長

大 橋 良 一 様

加須市自治協力団体 種足区長会

会 長 野 崎 輝 彦

他 5 9 団体

4 6 7 名

新種足橋・歩道橋設置の要望書

日頃の市政運営にご尽力をいただき、感謝申し上げます。加須市は現在、交通事故撲滅に向けて特別の対策を講じ、総力を挙げて取り組んでいます。私達も、「事故のない安全な種足地域を」と願って、朝夕の子ども達の通学路の安全確保及び道路の環境保全等に、地域ぐるみで取り組んでいるところです。

さて、中種足地内・市道騎 2152 号線の見沼代用水に架かる新種足橋は、種足小学校と騎西中学校の児童・生徒の通学路となっています。橋の幅員は 4 メートルと大変狭く、ここを朝の通勤通学時間帯には 100 台を越える車両が往来しています。橋を渡る子ども達のすぐ脇を、車両が急いで走り抜ける場面も頻繁に見られ、いつ事故が起きてもおかしくない、大変危険な状態です。

加須警察署の統計によれば、新種足橋では、この 3 年間で交通事故が 6 件（人身 2、物損 4）発生しています。また、今年 4 月は死亡事故、7 月は高齢者など 2 件の人身事故が頻発しています。子ども達の安全対策は、喫緊かつ重要な課題となっており、昨年の市政の話し合いでも、地域の代表者が要望しています。

「子どもは地域の宝、社会の宝」です。子ども達の健やかな成長は、地域みんなの願いであり、子どもを交通事故から守ることは大人の責任です。

よって、地域の各団体の署名も添えて、下記のことをつよく要望するものです。市長におかれましては、特段のご配慮を心からお願い申し上げます。

記

- 1, 子ども達の通学路の安全を確保するため、見沼代用水に架かる新種足橋に歩道橋を設置してください。

以 上